

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：防災費 目：消防指導費

事業名 消防学校施設安全対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 消防学校 管理調整係 電話番号：0586-89-3226

E-mail：c21201@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 75,900 千円（前年度予算額：251,762 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	251,762	0	0	0	0	0	0	171,800	79,962
要求額	75,900	0	0	0	0	0	0	0	75,900
決定額	75,900	0	0	0	0	0	0	56,900	19,000

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

消防学校校舎が築40年以上経過し、老朽化が進んでいるので、施設・設備の保全維持を行う。

(2) 事業内容

浴場改修工事費：75,900 千円

(3) 県負担・補助率の考え方

消防組織法に基づき、県負担で整備

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,300	工事監理委託費
工事請負費	72,600	浴場改修工事費
合計	75,900	

決定額の考え方

財源については、一般単独事業債（一般）を充当します。

事業評価調書（県単独補助金除く）

- | | |
|-------------------------------------|--------|
| <input type="checkbox"/> | 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

建築基準法 12 条点検の結果等を踏まえて、平成 29 年度以降、計画的な修繕工事を実施している。

浴場改修工事は、今年度移築工事を実施している食堂と同様に老朽化及び衛生環境が著しく悪く、さらに入校生の増加により面積も狭いことから、移築前の食堂跡地に移築する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
				(前々年度末時点)		
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

施設・設備物品にはそれぞれに耐用年数があることから、その保全のためには計画的な保守・更新・維持管理が不可欠である。

教育訓練や学校（寮）生活に支障を与えないことが重要であって、達成率で示すことができない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

- ・食堂移築工事費：203,400 千円
- ・桜寮屋上防水工事：30,458 千円
- ・職員及び学生駐車場舗装工事：12,100 千円
- ・浴場改修工事実施設計：5,479 千円

(前年度の成果)

<ul style="list-style-type: none">・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果 食堂移築工事により、食堂を新築し、衛生面での改善が図られたとともに、充実した食事の提供も可能となった。 桜寮屋上防水工事により、今後の雨漏りが起きる心配が解消された。 食堂の移築に伴い無くなった職員及び学生駐車場は、舗装工事により同面積程度の駐車場を確保することができた。
--

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
(評価) ○	消防学校の教育訓練における安全管理は第一の課題であり、安全で快適な学校生活が送れること、また、教育訓練が滞ることはあってはならない。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">・事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設・設備の老朽化、教育訓練の高度化に対応できる教育訓練場の確保と維持

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

工事を平成29年度から令和3年度までの5か年度で集中して行い、一時的に費用が増大しないように各年度平準化するよう調整した。

教育訓練や寮生活に支障を及ぼす施設・設備の維持管理については、優先度を高く計画的に行う。

工事は、使いながら実施する必要があることから、教育訓練に支障がないよう、安全を担保して行う。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせる理由や期待する効果 など